

ひめまつ

34



武幸

宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ 目次 第三十四号

表紙絵……島田武幸 題字……石川木魚 写真……写真部・伊東礼一

＝随想＝人間の尊厳について……………校長 須賀 淳……………1

決めたことは実行する（新生徒会長に就任の抱負）……………吉井 のぞみ……………4

出し切れなかった所期の力（運かった一年・感謝と反省）……………高橋 加津江……………5

△声▽ 学園と家庭・その折々……………7

三年・滝沢徳子 二年・中村恭子 二年・吉田晴美 一年・斎藤有美 三年・柴原聡子

三年・伊丹ひとみ 二年・高野喜久江 一年・印南洋子 一年・小貫康子

『短歌』・学園ノオトより……………三年 内海文子……………13

全校生徒の読書活動（読書感想文入賞作品）……………14

舞 姫……………山形 なるみ……………次郎物語……………田中 とも子

アンネの日記……………川田 明美……………嵐 狩……………佐藤 八重子

飛 翔……………薄久保 好江……………走れメロス……………佐野 裕子

花 埋 み……………半田 浩美……………清兵衛とヒョウタン……………五月女 敏規

車輪の下……………金田 美代子……………

吉田智子・内海文子・高橋加津江……………

金子幸子・益子徳久他……………26

詩

先生方の随筆コーナー……………41

山野草のおもむき・野沢芳雄 旅について・山形恵子 春から夏へ・寺内恒夫 美しいもの醜いもの・小林茂
ある少女の詩から・中島雅子 ねずみとり作戦・長明子 高野山での感動・伊沢豊夫 阿寒湖を訪れて・鈴木晶子

▽俳句……………51 ▽短歌……………91

委員会・クラブ活動この一年 美化・体育・文化等……………57

◇わしらのホームルーム……………72

■優良賞■心の障害（宇都宮市青年の意見発表大会）……………松本京子……………89

詩・宇河地区芸術祭第三位……………後藤洋子……………90

短歌雑誌が「ひめまつ」短歌を紹介……………

修学旅行・遠足・キャンプ……………山形なるみ、田子恒美、小松崎倫子他……………96

学園ニューストピック……………100

▽テニス部の戦跡△……………106

▽ブラウス柄デザインコンクール日本一△……………107

活発な奉仕活動（主体は学友会各支部）……………108

角海上江川校長先生・敬老の日の賜物につき礼状他……………

特集 共通の広場で語ろう……………115

萩野賢・小松沢敦子・高島夫佐子・相沢敬一・菅原美紀・近藤広之・渡辺祐子・金子幸子

家政科技術検定について……………検定合格一覧……………122

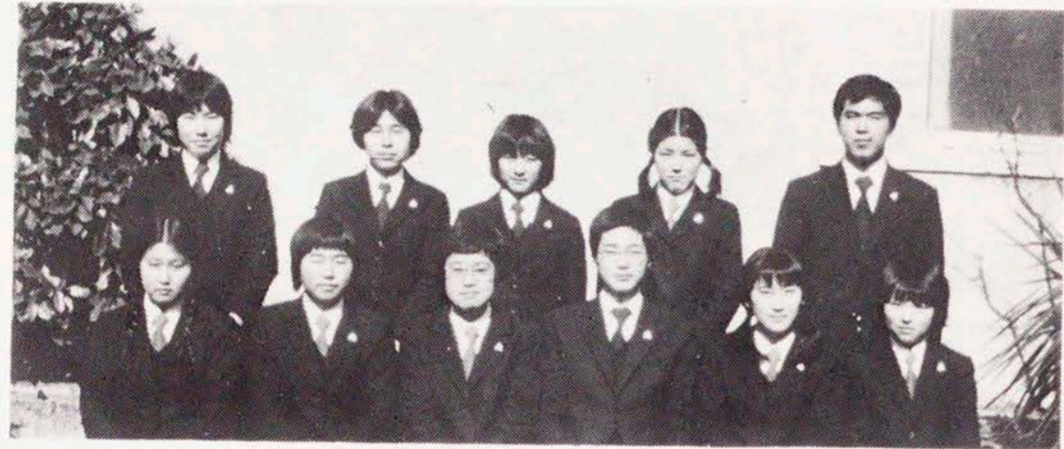
昭和五十四年度就職決定状況……………123

昭和五十四年度学校行事……………129

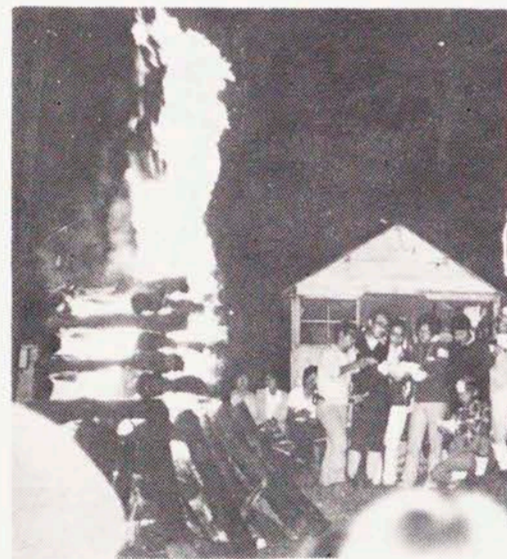
職員住所録……………130

▽編集後記・奥付△……………132

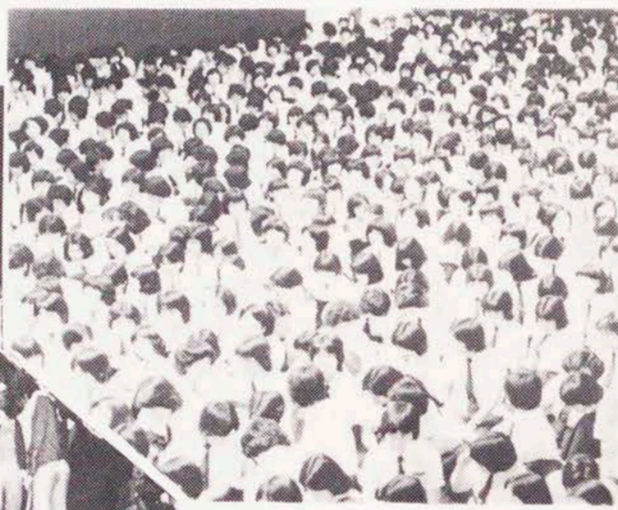
生徒会新役員 今年はやりますぞ！ ご協力を……



楽しかったですよ
(キャンプファイヤー)



生徒総会 活発な発言続出！



校内球技大会 意気旺ん！ 優勝はいただき！ スケート教室 スッテンコロリン！ 転ぶのも技術

校 歌



宇都宮短期大学附属高等学校校歌

二 荒の高嶺を 遙かに仰ぎ
 学びの道筋 まさしくあれと
 かたみに誓いて いそしみ励む
 教えの庭こそ げに尊けれ
 あわれ尊 この学びや

二 庭面に茂れる 姫松小松
 変らぬ操は 千代万代と
 かたみに祝いて いそしみ励む
 学びの庭こそ げに芽出度けれ
 あわれ芽出度 この学びや

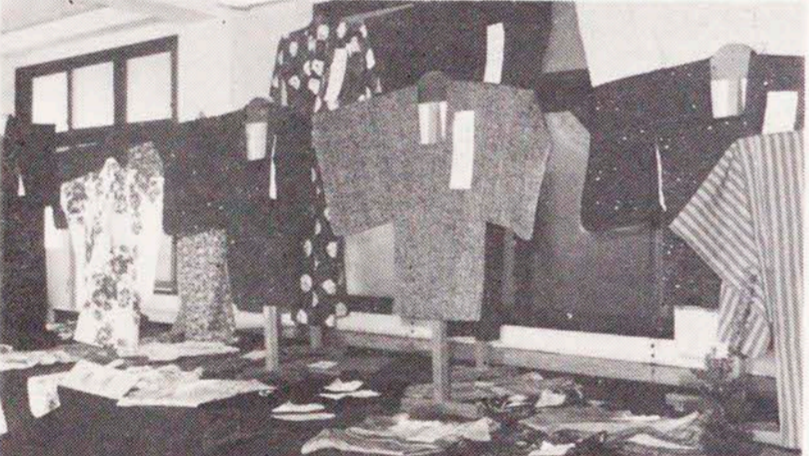


文化祭

華やかなパトントワーリングの演技



ファッションモデルでは…
ああ、びっくりした!

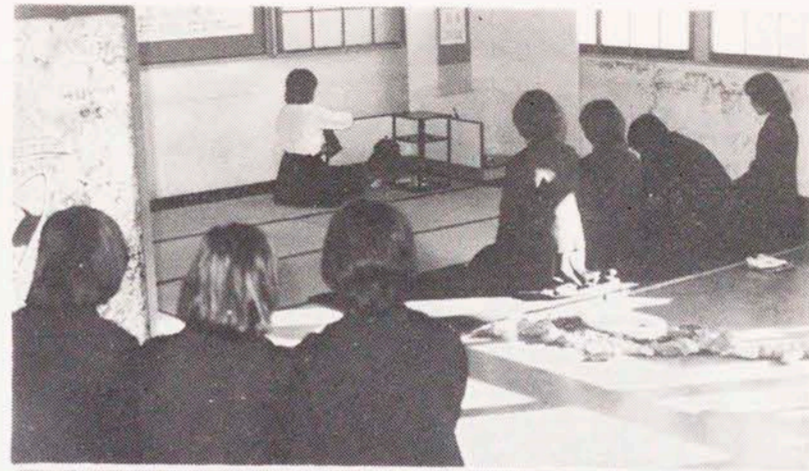


さすが日本一
ごりっばです (和裁部)



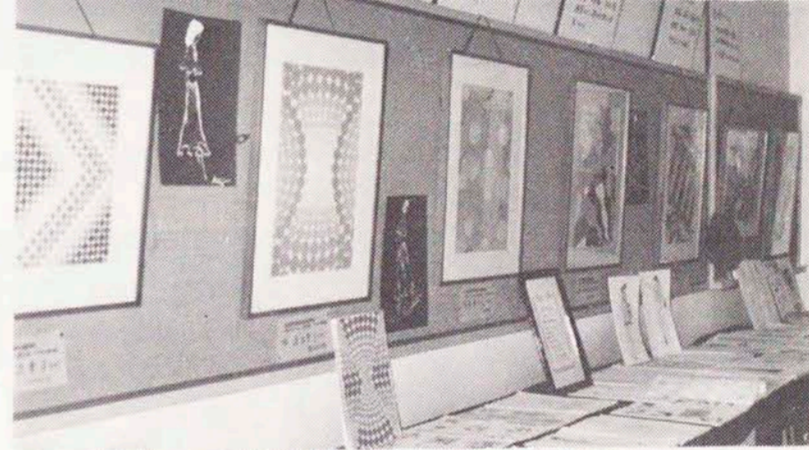
入賞?
もちろん
私たちよ
(合唱コンクール)

おおこのどよめき!
壮麗な光と匂い
音と色彩の大饗宴よ!

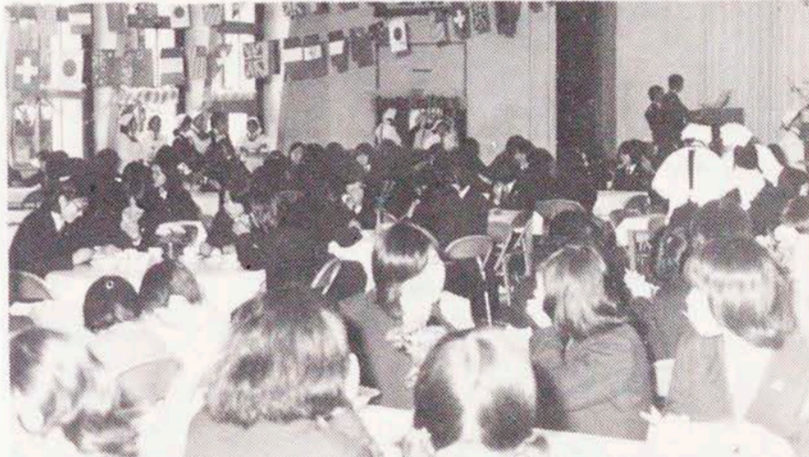


茶道部
「服い」かが……
茶室風景

点描



デザイン (服飾部)
日本一でした!
ブラウス柄作品



食堂
おいしい、おいしい!
大繁盛です!



校史
八十年前からのこと、何でも
わかります

創るよろこび
見るよろこび
見てもらうよろこび

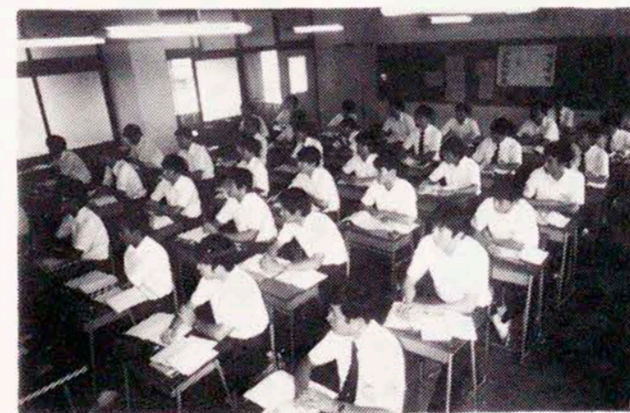
宮崎国体へも参加しました！
(お見事！本校体操部)



暑さもなんのその！校長先生の涼しいお話！
(PTA支部会)



目指すは……男子普通科
エネルギーはちきれんばかり！



素早く！和かに！
(新春かるた会)

随想

人間の尊厳について

校長 須賀 淳



ちのひとつなのです。
地味といえは、人さまさま、そのうちの目立たない人、もちろんこれは比較の問題ではあるが、そのような人をさすのでしよう。

暖冬異変などと騒がれていたことしの冬も、シーズンに入ってからはずが厳しい寒さに見舞われ、立春とは名ばかり、各地で連日の風雪におびやかされています。
しかし、この厳冬のなかにあつても、萌え出ずるべきものの芽は萌え、梅はふくらみ、やぶ椿が咲き、庭のろう梅も、葉に先立って黄色の花々がひっそりと独り芳香を放っています。春のさきがけは沈丁花やれんぎょうの花たちと思っている人も多く、ろうばいは、忘れられがちな地味な花た

皆さんのクラス——花園といってもいいが、その中でも同じようなことがいえそうです。意欲的で、積極的な目立ち方、反対にとくにマイナス面での目立ち方、したがって先生方からの注意を受けることの多い人、そして、そのどちらにもつかない、さきほど私のいった地味という意味に値するかどうかは別として、目立たない人と、大体この三つに大別できるだろうと思います。

指導する先生側としては、このうちの第三の部類の生徒たちに、もつとも複雑な、オーバーな方をすれば、ある種の無気味ささえも覚えさせられているのではないのでしょうか。

人間は一樣性と同時に多様性を、普遍性と同時に個性をあわせ持っています。

目立たない生徒たちの場合は、まずその対象を知るといふ作業から始めなければなりません。知る手がかりとしては面接やら作文やら観察やらいろいろの方法はあるにしても、教師の力量を問われかねない問題でもあるので、先生方は「炎える授業」、「わかる授業」、「楽しい授業」の三目標にそつた授業の展開が実際に行うことができるよう、その雰囲気づくりに努力しています。クラス全体——三様三態の生徒たちが、自力で積極的に立ち上がり、自分達のために「無気力返上」の意欲に燃えて、先生をむしろフルに活用する火付役となり、自発的にやる気を起してほしいものだと思います。

しかし、今日わたしのいいたいことの本筋は、人間の尊厳ということ、平たくいえば生まれてきたという、人間として生きてきたという、このいのちという掛け替えないもの、大切にして、大事に守り育て磨き上げて行こうという訴えなのです。

なんだ、そんなこと、分かってらあ、なんて軽口は絶対いってはいけません。その軽々しい口の利き方が、そもそも人間軽視につながっているのです。

生れた、生れてきた、これは天からの授かりもの、神さまや仏さまからの授かりものです。生き物、それは数限りなくあります。にんげん——これは種族の違いや、文明、文化の遅進度の相違こそあれ、一樣性においては同じこと。したがってその尊厳性は、色や能力や可能性の差こそあれ、全く同じです。

私はこのごろとくに、日本人として、日本に、しかも栃木県人として栃木県に生まれてよかったです。そしてまた若く美しい皆さん方と、教育者としての日々を送れることができ、こんな嬉しいことはないと思っています。

細部にわたっては、種々言いつのらない人はいないでしょう。しかし大筋から見ると、世界の動態に注意してみてください。日本ほど自由で、豊かで、平和な国は、少くとも大国という仲間に入っている国としてはないのでしょうか。

また、栃木県、山梨に水清き栃木県、こわいものなし、地震、雷、火事、親父、どの一つをとって見ても、恐い物なし、といえそうではありませんか。しかし皆さん、このしあわせに慣れてはいけません。これは全世界に、人類全体に向かつていえることなのですが、問題はすでに、人類が生き伸びるためにはどうすればよいかというところまできているのです。

人間の尊厳について考えることは、自然と人間の共存、国際理解の感覚をみがくことです。

それにつけても、私の心を痛めているのは、類発する小中学生とくに低学年の子どもたちの殺人事件と高校生による自動車事故。生徒の皆さんには、弟や妹さん方にテレビの正しい見方を、とくに時代的、社会的背景を、よくかみ砕いて話してもらい悲しい事件の全く起こらないニッポン一よい県と、県民とを創り上げる原動力となつてほしいのです。

学園ニュース トピック

盛大だった学校祭

本校名物待望の学校祭は、十一月十七、十八の両日にわたり開催、展示、実演、即売に演奏にと、全校内をフルに使ってハチ切れるばかりの熱気に充ち、盛況裡に閉幕した。

会場は第一会場校史の資料展示に始まり、第二、第三会場から講堂(大食堂)に至る実に三十三室、加えるに第四会場(体育館)の催物、更にプラスバンド、バトントワリングの名演技が正面玄関前の大噴水をめぐってくり展開される等、大観衆は酔いに酔い、調理科、家政科など腕利きの製作したご馳走にや

っと我に返り、どれ、もう一まわりと一日中の若者たちの祭典を鑑賞させてもらい楽しかった、有難うとくり返し礼を言っ帰った父兄たちもあつた。五十五年度は本校創立八十周年記念の大学校祭、はて、何が出てくるのかと今から早や期待が寄せられている。本年度の実行委員は次のとおり。

▽委員長・田代健(三の九) 副委員長・川井緑(二の十四) 高橋香代子(一の十七) 会計・増井ひろ子(三の十四) 岡田千恵子(三の十四) 庶務・野沢信一(三の十) 小野崎史子(三の十三)

校内珠算検定合格者

▽一級・坂寄佐紀子。二級・柴田利加子・吉田利恵子。三級・二十名。四級・十九名。五

級四十三名。六級・五十七名。

一級の合格者も

全国珠連主催の検定で

☆▽一級・薄久保芳江(三の十五) 川井順子(二の十三)▽二級・吉田利恵子(二の十四) 小口加代子(三の十四)、高野優子(同上)▽三級六名。四級五名。

生徒会がユニセフへ

学校祭バザーの

益金を寄付

本校生徒会では、今年、学校祭のバザーの益金をユニセフ(国際連合児童基金)学校募金運動に寄附しました。きびしい国際情勢下少しでも恵まれない子供達がなくなり、皆が手をとりあつて幸福な生活が送れるようにという意図にもとづくもの。

その結果、財団法人 日本ユニセフ協会より感謝状をいただき、今後その気持を大切にして行きたいと思ひます。(委員長)

生徒会長は吉井のぞみに 堂々の主張、行動力に期待!

昭和五十五年度生徒会長・副会長の選挙は、十二月十二日行なわれ、新生徒会長・副会長が次のとおり決定した。得票は次の通り。

- △会長▽
- 一、一四三票 二一三吉井のぞみ(商)
 - 三一四票 二一六 吉田 晴美(家)
 - 二四九票 二一四福田むつき(商)
 - 一九五票 二一三菅野谷恵子(普)
- △副会長▽
- 一、〇二二票 一七七 小島 典之(調)
 - 四二七票 一五五 葉子(商)
 - 二五九票 一一一 大出 隆子(家)
 - 二二三票 一一一 平野 寿子(普)

▽全校生のスケート教室△

昭和五十四年度スケート教室は、恒例によ

り、一月十七日(木)午前八時四十分より午後三時まで、日光市所野町「日光スケートセンター」において開催されました。本年度の参加者は二百余名、バス四十七台を連ねての大移動。天候にも恵まれ絶好のスケート日和。バスを降りる時間もどかしく、リンクに舞い降りささそうと滑り出す人、おっかなびっくりいつまでも友達にしがみついている人、どの顔も冬の太陽を浴びて若さではちきれそうでした。「終了!」の合図に、まだリンクを離れ難い人も多かったようですが、年に一度のこのスケート教室。授業では得られない何かを学びとったことでしょう。

読書感想文入賞者

本年度の校内読書感想文入賞者はつぎのと

- ▽三年
- 一位「舞姫」 12組 山形なるみ
 - 二位「アンネの日記」 4組 川田 明美
 - 三位「飛翔」 15組 薄久保好江
- ▽二年
- 一位「花埋み」 16組 半田 浩美
 - 二位「車輪の下」 2組 金田美代子
 - 三位「次郎物語」 3組 田中とも子
- ▽一年
- 一位「塩狩峠」 2組 佐藤八重子
 - 二位「走れメロス」 4組 佐野 裕子
 - 三位「清兵衛と瓢箪」 9組 五月女敏規
- ▽佳作入賞者
- 「三年」小さき者へ・森久美子。高村光太郎詩集・高山広美。城の崎にて・中西加代子。人間失格・野沢則子。アンの青春・野中佳子。二十才の原典・菅原三枝子。ころろ・堀井友美子。禁じられた遊び・君島幸一。老人と海・伊藤久美子。名人伝・高橋真理。変身・五位野映子。ピルマの堅琴・伊沢道子。変身・増井ひろ子。君よ知るや南の国を・細川朋子。橋山節考・佐藤田有子。雅くて愛を知らず・渡辺祐子。
- 「二年」小さき者へ・飯野由紀子。女の一生

・黒川紀子。ころろ・池田美樹・天平の豊・矢島水子。ああ無情・福田幸子。飛翔・若林昭子。ころろ・狐塚ひろ子。ころろ・高橋武男。友情・篠原博。ころろ・白川浩子。めたかの列島・野口文子。放浪記・伊藤隆子。十五才の絶唱・小倉栄子。ころろ・諏訪綾子。老人と海・長谷川純子。神々の沈黙・竹沢真里。

〔一年〕走れメロス・伊沢則子。若きいのちの日記・松本徳子。老人と海・平野晴美。赤毛のアン・小野真弓。高瀬舟・徳橋和子。車輪の下・印出ひろみ。高瀬舟・神山卓己。羅生門・斎藤敏子。野菊の墓・松本秀信。北キツネ物語・今井律子。小さき者へ・野沢法子。車輪の下・須田美奈子。若きウエルテルの悩み・大滝佳子。高瀬舟・坂寄佐紀子。路傍の石・笹川澄子。アンネの日記・増淵公子。

好評を博した

本校の手芸作品

県下高校手芸展で

本県高校文化連盟手芸部主催の手芸展は十一月二十三日から三日間、宇都宮市東武百貨店催場で開会。本校からは、卒業生作品

須賀校長が委員長で 女性の地位向上の提言集

県では婦人の地位向上のための提言を、広く一般県民から募集していたが、本校々長須賀淳先生が選挙委員長に就任、県発行の「提言集」発刊に当たっては、委員長として選評のトップを飾った。

募集提言のテーマはつぎのとおり

①婦人の社会参加をすすめるための私の提言

②女性の自立を促進するための私の提言

③男女平等のための私の提言

文部大臣賞を受賞

本校が県統計功労者

第十七回本県統計大会は十一月六日栃木会館大ホールで開催されたが、当日、本校は昭和五十四年度学校保健統計調査功労者として

文部大臣表彰を受け、表彰状を伝達された。

篠崎キミエさんが

同窓会新会長に

本校同窓会幹事会は七月二十六日開会、八十周年記念行事の実施を前に、左のとおり新役員を決め、積極的に活動を開始した。

▽会長 篠崎キミエ、副会長 大岡テイ、今井久子、戸室文子。▽常務幹事 福田アキノ吉沢光子、片嶋秀子、小野きよ、森ヒサ、手塚テイ、小池秀子、竹沢キツ、都野キン、和氣節子、岩原八重子▽会計監査 佐藤美智子 成田勝子の皆さん。外記念行事の実行委員が数十氏あげられた。

敬老の日の贈物

生徒会に続々と礼状

暑さも過ぎ、だいぶ涼しくなってきました。夏休みも終り、皆様勉強に励んでおられることと思います。

私は、二年十二組、土屋佳子の母でございます。娘も高校に入学しまして二年余り過ぎますが、毎日楽しく学校に通わせております

この度、敬老の日には結構なお祝の品を頂き、誠にありがとうございました。

おばあちゃんもとても喜び、大事に飾って毎日眺めております。祖母を大切にしている娘です。おばあちゃんも大変感謝しております。本当に有難うございました。厚くお礼申し上げます。(二の十二・土屋伊代子母)

朝夕はめっきり涼しくなり、生徒会の皆様にはお元気で励みの事と拝察致します。私事二年九組の上野祥二の祖母でございますが、昨年は立派な金杯を頂き、ありがとうございました。

今年も敬老の日がまいりました。又々御見

PTAの研修旅行

PTA研修旅行も回を重ねること十回、例年の行事として定着しつつあり、各支部の夏期総会の仕上げとしての意義も深く、学校側にとっても欠かせない親睦と反省の場へと発展していることは誠に心強い。

開催地も本年は趣向を変えて東北、それも松島から中尊寺へというベストコース。九月十五日九時半本校を出発した一行は、午後二時ごろ早くも塩釜神社に参拝、夕刻早

みちのく中尊寺へ

目に松島着、ホテル浦嶋荘に入り、恒例の研修に入り、予定の日程議題を終了、英気を養ったのち早朝八時ホテルを出て一の関へ。

見学地は毛越寺から中尊寺。もうおつじはかつては堂塔四十余を誇った名山で、その静かな廃墟のたすまいは底知れぬ魅力的なものを漂わせている。これに引替、中尊寺は建物も手入も共に行届き、夏草や兵どもが夢の跡

五月雨の降のこしてや光堂

芭蕉の「奥の細道」の二句は、余りにも有名である。当日の出発者は次のとおり。

- ▽父兄側 松岡祐祥、渡辺衛、田代健一郎 秋山記典、吉永春夫、阿久津靖典、高山源吉 中島至一、岩下考宏、中丸アイ子、木野内敬男、大貫輝男、水井貞夫、安斎昭作、亀田照雄、中野庄平、関口昌宏、吉沢俊男、福田勉 福田良幸、平田昭三、小堀正之、村上栄、山田健二、琴章治、小沢厚、星野裕一、岡田森 針谷操、針谷仁、竹沢勤、八代好一、篠原孝 森田博、五味淵義人、大塚泰市、吉村金次、山川久雄、寄川浩、石川順氏の皆さん。
- ▽学校側 校長須賀淳、太田、三矢、金田の諸先生。

商業科は湯西川へ

有意義だった研修会

七月二十八・二十九日の両日、第三回商業科後援会役員研修旅行が湯西川温泉、山城屋ホテルにおいて開催された。

七月二十八日(土)一時学校出発、途中竜王峡の見晴しのよい「グリンやまぐち」(本校調理科卒業生経営)で一休み、緑につつまれた谷間にある宿に着く、温泉場での一とき

も格別で小憩の後、午後五時三十分からホテル会議室で研修に入る。

阿久津会長の挨拶について、事務局から経過報告、現況報告、並びに進路報告があり、質疑の後、伊沢先生の特別講話「本校の進路指導」(高校就職新聞に掲載した資料)が本校の進路指導にもとづき)が行われた。

午後七時からは、会場を移し広間で懇親会が開かれ、余興等も出て親睦を深め有意義な会を終えた。翌日、大笹牧場等を見学、午後二時帰校。

当日の参加者は次の通り。

父兄側 阿久津靖典、山岸孝、早川十久二、伊藤羽夫、荒井一、渡部健、小林外史、村山勝、尾島利夫、佐藤典男、山岸ミイ子、学校側 伊沢、松本、信夫の諸先生。

☆☆☆☆☆恒例の新年かるた会成績

本年度行われた新年かるた会の成績はつぎのとおり。

▽三年の部(国語科主催) 一位・田代道代(三十二) 二位・鈴木則子(九) 二位・加藤兼子(三十四) 四位・大坪美代子(三十三) 五位・小野崎史子(三十三) 五位・

佐野恵子(三十一)

▽一、二年の部(普通科主催)

二年 一位・吉沢美智子 二、三位・鈴木井路子 同、三位渡辺華枝 同、四位・鈴木くるみ 二、五位・片柳一江 二、十

二、一位 一位・橋田英子 一、十、二位

市塚佐知 一、十二、三位 梶田美奈子 一

一、十、四位 星野敦子 一、十二、五位・村

川依子 一、十二の皆さん。

校内球技大会の成績

本年度球技大会の成績は次のとおり。

▽バレーボールの部

女子 一位 二位、二位 一の十二、三位

二の十、四位 三の五、五位 二の四、男子

一位 二位、二位 三の九、三位 二の

一の七

▽バスケットボールの部

女子 一位 三の二、二位 二の五、三位

二の十、四位 三の五、五位 二の四、男子

一位 二位、二位 三の九、三位 二の

九

▽ソフトボールの部

女子 一位 三の六、二位 二の十、三位

三の三、四位 一の二、五位 三の五、男子

一位 一の七、二位 二の八、三位 三の

九

▽卓球の部

女子 一位 三の八、二位 三の十五、三位

三の二、四位 一の十五、五位 二の七、

男子 一位 一の九、二位 二の八、三位

一の七

明るく、力強く

合唱、弁論大会

校内合唱、弁論大会は、十月三十日(十一月一日(予選))十一月十六日(本選)。と回を重ねて来、その熱気は盛んなもの。放課後の練習は今までにない力の入れよう。クラスの和もさらに大きくなった。結果は次の通り

第十六回合唱コンクール
一位 一の十二 「流浪の民」
二位 二の十二 「ねむの花」
三位 三の十三 「ウィーンの森の物語」
四位 三の三 「ダム之歌」
五位 三の十二 「おおヒバリ」
第十五回弁論大会
一位 二の十三秋沢 広子「両親の愛」

年毎に向上する 校内運針競技会

校内運針競技大会は、家政科行事として毎学期毎に行われているが、本年度第一、二学期の成績はつぎのとおり。

第一学期

▽三年の部

第一位 三年六組 手塚 清美

第二位 三年四組 酒匂江美子

第三位 三年五組 竹淵由美子

第四位 三年四組 榎並 淳子

第五位 三年五組 落合 恵子

第六位 二年五組 荻田 信子

▽二年の部

第一位 二年六組 吉田 晴美

第二位 二年四組 野口 淳子

第三位 二年四組 山口 昌子

学校説明を聞いて

卒業生からの便り

前略 突然のお葉書失礼お許し下さいませ
実は私、昭和三十三年卒業の者で、先日雀宮中での私立高校説明会に出席した一母親です。久しぶりに、どんな先生がお見えになるのか、又学校がどのように変わられたか、意義深く思い、胸ふくらませて順番をお待ちしておりましたところ、淳先生が登壇、親しみ々に充ちた笑顔をこめて優しく、分かり易くお話し下さってあっという間に三十分が過ぎて

しまいました。在学時の事どもが一つ一つ思い出され、あれから二十年、ひたすら発展し続けている我が須賀学園、嬉しくて、嬉しくて熱いものがこみ上げてくる思いでした。
友正先生もお元気でしょうか。創立八十周年文化祭には必ずお伺いし、懐かしい学び舎にふれ、当時に戻り友人達とはしやきたい私です。昨年はクラス会をやりました。主婦として幸せな人はかり。ほとんどの方が来てくれました。須賀学園を卒業してはんととうに良かった。我子もぜひ入学させたいと思っています。以下略。

第三位 二年一組 杉本 晴美

二年三組 高尾 政代

二年五組 須見 俊子

▽一年の部

第一位 一年五組 福田 雪子

第二位 一年三組 安斉 竹子

第三位 一年四組 川田 節子

第四位 一年四組 関谷 桂子

第五位 一年五組 打越きみ江

第六位 一年六組 矢古宇弘美

第二学期

▽二年

▽三年

一位 小曾根香代子

二位 神山 静枝

三位 荻田 信子

四位 小杉 昌子

五位 榎並 淳子

六位 手塚 清美

とどめて置きたい

テニス部の戦跡

今、卒業を前にして私がたどってきたテニス生活を見つめてみると、多くの出来事がありました。

入学したての私達は、まだ何も知らない学校生活とクラブ活動への不安と希望で落ち着かない毎日でした。そして二年目は、ただ先輩から指示された通りのことをけじめ正しく無我夢中で過ごし、一日一日の生活が練習、練習で明け暮れたように思います。

私たちの見本であった先輩も多くの試合で輝かしい成績を残して下さいました。そして先輩にも負けないように努力すると意識し始めたのは、新人戦も終り冬のトレーニングになったころだと思います。それからの私は、テニスだけを考えるようになり、「ポレー」・「スマッシュ」・「レシーブ」……にも力を入れるようになりました。キャプテンという立場からも「もっと腰低く！」「早く走って！」「一本大切に！」と声を出し部員を引っ張って行くと同時に、まとめていく責任とい

うことも考えるようになりました。

三年になり県外の試合に出場し、数々の苦しい思い出があります。中でも、インターハイでのあの瞬間「きまった」と心の奥で叫んだ自分。ちょっとした油断だったのかボールは右サイドに落ちてしまった。「アウト」審判のコールに先生も応援の人々も驚きと同時に目



勝利の一瞬！ 宮崎県国体出場

を伏せたにちがいない。現に私も、目を疑った。その時、私の気持ちは、空しさというより、ボール一つに集中する事のできなかつた悔しさでいっぱいだった。おそろくそれは、毎日練習を共にしたペアーの長谷川も同じであつたにちがいない。「あと一ポイント取れば勝った試合だったから……」クラブ活動をやることは、とかく現代高校生活の中にある無関心、無気力、無責任さなど及ぶことのできない精神力を必要とする事実を、私に教えてくれました。その時後ろを振り向いて長谷川の目を見た。「ドンマイ」という声が、握手が、とても心強かつたのは、私一人で試合をしているのではなく、友と二人で試合をしているからではなかつたでしょうか。高校時代には、精神力こそとくに大切です。友情があつてこそ生まれてくる仲間との責任感それが精神力につながっているのだと思います。県外の試合に勝ち進むことができたことは、一・二年と御指導下さつた岸本哲明先生の土台が、あつたからだと思います。今心から言えます。「先生、ありがとうございます」「心から感謝しています」と……。

三年からは新しく佐藤健司先生の指導を受けることになりました。佐藤先生の指導は、

岸本先生以上に迫力があり、経験をいかした自分のテニスを私達に情熱あふれる体で注ぎこんでくれました。今本当に、またこれから、二人の先生の教えを毎日の日常生活はもちろん職場や、学校へ進む私達に大きく役に立つと思います。

最後に、二年生、一年生に、私達が必死で守りとおしてきた伝統を、これから、みんなが協力して守って下さい。しかし伝統という小さな殻に閉じ込めず、持ち味を忘れず精一杯がんばって下さい。今後の御活躍を心からお祈りしています。

今期の試合成績は次のとおり。

- 「個人の部」
- 春季大会 長谷川―根本組 三位
- 関東予選 今泉―清水組 三位
- 長谷川―根本組 十六本
- インターハイ予選
- 長谷川―根本組 準優勝 今泉―清水組 八本
- 下野杯 今泉―清水組 準優勝 長谷川―根本組 八本
- 国体予選 長谷川―根本組 三位 今泉―清水組 八本 齋藤(和)―増田組 十六本
- 一年生大会 砂川―栗原組 三位 木村―大

- 沢組 十六本
- インターハイ 長谷川―根本組 十六本 (全国高校ランキング第十位)
- 中部大会 長谷川―根本組 優勝 齋藤―増田組 八本
- 黒磯大会 今泉―清水組 優勝 野尻―青山組 八本 齋藤恵―栗原組 八本
- 新人戦 齋藤―栗原組 八本 齋藤―増田組 十六本

ブラウス柄デザインコンクール日本一

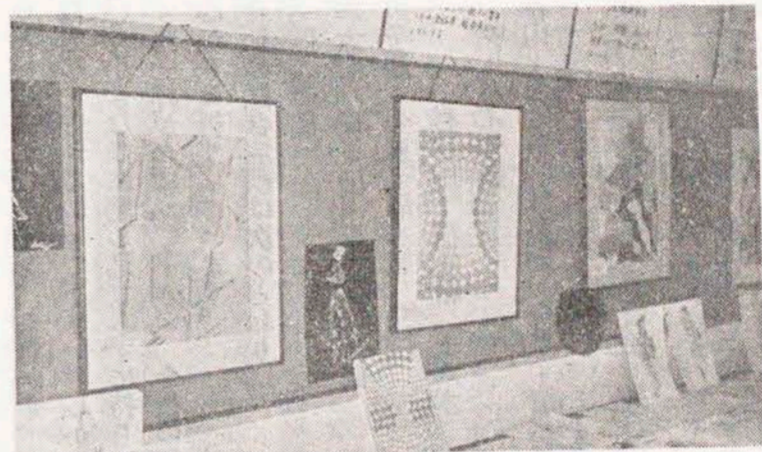
一、二位、佳作、学校賞も

県教育委員会は一月二十五日の臨時会で、五十四年度各種大会優勝者など、表彰の受賞者を決めたが、本校は全国高校長協会家庭部会デザインコンクールブラウス柄の部学校賞二位および個人賞二位獲得の成果が評価され二月十九日午前十一時からの表彰式で受賞伝達の榮譽にかがやいた。

- 入賞したのは、一位・齋藤文己 三の六
- 二位・岡田尚美 三の六、三位 菊田信子 三の七、佳作 齋藤文己 三の六、関香世子 三の七、宮沢幸子 三の七の皆さん方。

審査に当たられたブラウス柄について文化女子大石山影教授は総評として「八年目ともなると、作品の粒も揃い、技術的にも一段の発展が見られて、審査の私達もそのレベルの向上に目を見張りました」とのこと。また応募作品の増加はこのコンクールの評価がいかに高められてからの証しだとも言っておられる。

個人評では、同教授は、自由で、大胆な試みを作品にぶつけることの重要性を説き、「その意味で、今回の一位を獲得齋藤文己さ



1・2位 佳作を独占した作品群

んの作品は、色と形の新鮮さが高く評価され、二位の岡田尚美さんの作品は、ままとまりの好さが評価されたとしておられる。

●永島先生のお話

の七十七名で成り立っています。支部長としてこの一年間を振り返ってみると、自分なりに一生懸命やっただけで、結果としてみんなをうまくまとめることが出来たように思います。

風の中で、一番印象に残っているのは夏休みの奉仕活動です。毎年、寄付や雑巾だけでは、奉仕活動としての意味がないので、今年は一部の人だけ老人ホームへの慰問をするというように話がまとまり、八月二十日、10名という少人数ではありましたが、青嵐荘を慰問いたしました。きくとくところによれば、青嵐荘へ入っている人たちは、ほとんどが家が狭いとか経済的にうまくゆかない人は多いということで、正直なところ、可哀想だな、という気持ちでいっぱいでした。

部屋を拝見させていただくと、一つの部屋に四人ずつ入居しており、盆栽をやったり動物をかったり、一人一人が自由に楽しんでいる様子がかがわれました。医療設備の面では、自分一人では身動きのできないお年寄りでも、寮母さんの手により、入浴、その他の活動がスムーズにおこなわれるようになっていました。健康管理（リハビリテーション）の点においても、毎日決められた時間に

前年度につづいての二度目の受賞で、生徒たちが自信を得、誇りを持ち得たことが何よりの収穫だと思っ。これは本校家政科独自の専攻学習体制、つまり生徒の学習活動の選択性と志同性を生かす静的学習形態から、生徒個人個人の主体的な学習活動の展開こそ、真の授業の根本であるとの学校の教育理念のもと

活発な社会奉仕活動

主体は学友会各支部

＝ 角海校長先生のお便り
＝ 優しい心づかいへの感謝

塩谷郡喜連川町立上江川中学校長角海忠一先生から、つきのような御懇篤なお便りいただきました。本校の推進している「優しい心づかいの運動」を黙々と実行していただいている皆さんの行ないの賜です。

前略 本校卒業生市川信子、山田美佐子より、過日学友会代表として、雑巾五十枚余持

に先生と生徒とが一体となって新鮮な感覚のもとに創造的進歩をつづけた成果の現われだと思えます。

今後、生徒一人一人が皆伸びのびと思ふ存分活躍したという充実感ももてるよう配慮し、ゆたかな創造力を養って行くよう努力する考えです。

参し、寄贈して頂きましたが、相変らず真面目に励んでいる様子、嬉しいものです。子供達が大変お世話様になります。宜しく今後共御指導お願いいたします。

母校を忘れない先輩、有意義な学友会活動貴校の発展を祈りながら御礼とお報せまで。末尾ながら健康には呉々も留意くださいますように。――校長宛、掲載お許し下さい。

青嵐荘慰問の感動

古河支部

私たちが古河支部は、一年生から三年生まで

も、また清掃を行った私達にとっても心を清められたような清々しい気分になれたことでした。

このようにして行っている奉仕活動を通して思うことは、学友会と言う一つのチームワークによって上級生、下級生が共に協力し合えること、そして、口ではあっさり言えるような「奉仕」と言う言葉が自分自身で実行出来たことは、ほんとうに素晴らしいことだと思えます。これからも一層の活躍を……。

(支部長・高橋 真理)

夏冬二回の清掃奉仕

小山支部

私達小山支部は、松本先生、小山先生の御指導のもとに奉仕活動として夏休みと冬休みに一度ずつ小山駅、保育所、須賀神社清掃を行います。毎年恒例となっている奉仕活動ですが、各自が積極的に清掃にあたってくれるので保育所の先生方からも、この、年に二回の清掃日が大変喜ばれています。神社清掃では、特に冬休みに約三、四時間掛けて隅々までやってくれたことは、初詣でに訪れる人々にとって

保育園を慰問して

間々田支部

私達間々田支部は、間々田中、野木中、二校より成り、夏休みには各中学校別に活動しました。行事内容は、保育園の清掃、雑巾の回収などです。

保育園清掃に行ったときは、なつかないでいた子供たちでしたが、だんだん慣れてきたせいか、私達に話しかけたり、又反対に私達から話しかけたりしながら、窓をふいたり、ゴミを拾ったりしてみんな一生懸命にやってくれました。保育園の先生方にも、「今年も来てくれたんですか、本当に御苦労様です。」